

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株 ※平成29年1月1日付で1,000株から100株に変更しました。

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
URL www.shizuki.co.jp



株主通信

第90期 第2四半期報告書
平成29年4月1日～平成29年9月30日

メッセージ

V字回復へ、全社一丸。
“連携”と“集中”で、
大きな力を生んでいく。

特集:シヅキのツツキ

乗り物用コンデンサ



証券コード 6994 / 東証二部

株式会社 指月電機製作所



AIM2018 事業領域の11ドメイン



今回の主なトピックス

岡山指月“第3工場”が完成

2017年7月12日に岡山指月“第3工場”がついに竣工を迎えました。さらなる高信頼・高品質、そして新しい価値の創造を目指していきます。

情報機器システム事業の譲渡

シヅキは、今後の継続的な成長を目指し、株式会社小田原機器へ情報機器システム事業を譲渡することといたしました。

→ 詳しくはP7-P8をご覧ください

新たな成長局面を、目指して。 選択と集中、そして、新工場の稼働へ。

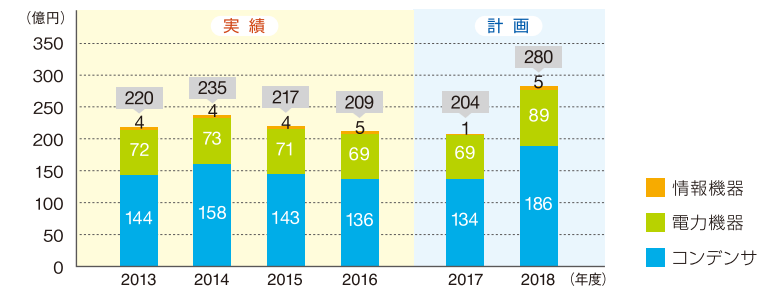
日本の経済は、所得や雇用の改善によって、ゆるやかな回復基調が続いています。しかしながら、個人消費が盛り上がりを見せる一方で、設備投資は一部で弱含みの状況が続いていることや、海外の経済動向や政情不安などの影響を考えると、景気の先行きは依然として予断を許さない状況にあると言えます。

このような環境のもと、私たちシヅキは、受注・売上の確保、原価低減活動に努めてまいりましたが、新エネルギー関連のコンデンサ・モジュールにおいて売上が減少したことなどをうけ、当第2四半期の連結売上高は、96億1千2百万円（前年同期比1.5%減少）となりました。営業面以外のところでは、情報機器システムの事業譲渡にともなう譲渡益や、東京支店の移転にともなう売却益を計上したことにより、四半期純利益は8億3千8百万円（前年同期比249.3%）となりました。

私たちは、結果として表れた数字を真摯に受け止めながらも、数字として表に出てこない個々の取り組みや、日々の業務の状況について、今一度しっかりと見つめ直し、より市場の変化に対応した営業活動や、より高収益化につながる生産活動を展開していかなければならないと考えております。「情報機器システム」の事業譲渡により、シヅキは中核事業である「コンデンサ・モジュール」と、その技術を活かした「電力機器システム」という2本柱に、経営資源を集中しようとしています。岡山指月の第3工場も、10月に稼働を迎えることができました。次の成長局面へ向けて、私たちは歩みを止めることなく進んでいく所存です。

代表執行役社長 伊藤 薫

中長期経営計画 AIM2018 売上高実績と計画

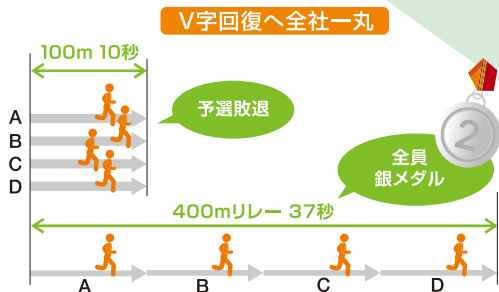


V字回復へ、全社一丸。 “連携”と“集中”で、大きな力を生んでいく。

優れた連携は、個々の能力を超えた成果を生み出す。

まだ記憶に新しい、2016年夏のリオデジャネイロ五輪。日本は男子陸上400メートルリレーで、銀メダルに輝きました。日本陸上界の歴史に永く刻まれるような、大きなインパクトをもたらした快挙でした。しかし、日本人選手の個々のタイムを見てみると、この当時は、まだ誰も100メートル10秒の壁を破ることができず、個人としての成績は予選敗退に終わっています。ふつうに4選手のタイムを合計すると40秒を超えます。それにも関わらず、日本チームは世界に誇るバトン技術によって37秒60という記録を出すことができたのです。

全員がうまく連携し、チームとして機能することで、個々がバラバラに力を出そうとしていたのでは到底及ばないような、大きな力を発揮することができる。このレースは、そんな教訓を与えてくれます。たとえ一人ひとりの選手のスピードは競争



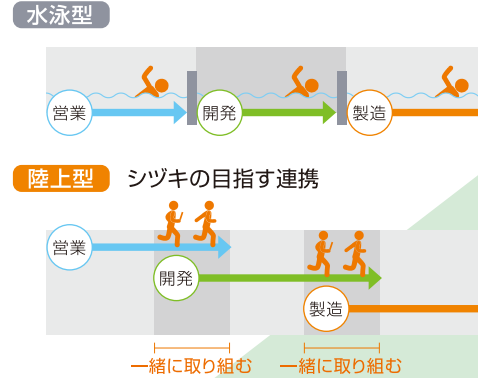
相手に及ばなくとも、チームが一丸になれば、素晴らしい仕事を成し遂げることができるのです。

バトンをうまくリレーするために、
お互いのことを知り、日々のプロセスを理解する。

以前、第85期報告書のなかでも“水泳型”のリレーと“陸上型”のリレーの違いについてお話をさせていただきました。水泳型のリレーは、前泳者が泳ぎ切ってタッチしたのを見届けてから、初めて次の泳者がスタートを切ることができます。これに対して、陸上のリレーでは、前の走者から次の走者へバトンを渡すときに、一緒に走るゾーンがあります。水泳型の場合、必ずスピードがゼロになる瞬間がありますが、陸上型はスピードが落ちません。次の走者が十分にスピードにのってからバトンをつなぐことができ、もしある選手がスピードに自信がなければ、その分をほかの選手がより長く走ることもできます。

このような連携を可能にするためには、開発は開発、製造は製造、営業は営業という切り分けた考え方ではなく、お互いどんな風にバトンをつなげばよいのか、相手のことをよく知らなければなりません。

相手がどんな状況にあり、どんな課題を抱えていて、それに対して日々どう取り組んでいるのか。ただ出てきた成績を見て一喜一憂するのではなく、それぞれのプロセスをきちんとのかし、検証していくことが大切だと考えています。そのうえ



で、全社が一丸となって大きな力を発揮できるような体制を築いていきたいと思っています。

2大事業への“選択と集中”へ。
事業譲渡という決断。

組織が大きな力を発揮するためには“選択と集中”が求められる場面もあります。シツキは2017年9月をもって、情報機器システム事業を株式会社小田原機器に譲渡いたしました。シツキにはこのほかに、中核事業として長年取り組んできたコンデンサ・モジュール事業と、その技術を活かした電力機器システム事業があります。この2事業は、技術的にも深く関連し合っており、販売面でも同じネットワークを活かしながら、シナジーを生み出してきました。

こうした背景のなか、情報機器システム事業だけは、技術の面でも、販売の面でも大きく異なる分野となるため、独自の道を歩んできました。そこに振り向いていた経営資源や現場の社員たちを中核事業のほうに集中させ、商品力や販売力をさらに高めていくという道もあるのではないだろうか。そんなことを考えていた矢先に、長年情報機器システム事業の顧客としてお取引を続けてきた小田原機器から、情報機器の製造・販売を自社で手がけ、ワンマンバスの総合メーカーとして事業を拡大していきたい。さらには、情報機器をバス以外の交通機関

へも広げていきたいという話を伺いました。両社が今後、より良い事業展開を目指すうえで、お互いに価値のある引き合わせだと考え、この度の事業譲渡に至りました。この事業にこれまで一生懸命心血を注いできた社員たち、お客様やお取引先様、そして、ご支援を賜った株主の皆様には、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

岡山指月の新工場が稼働スタート。
新たな成長への一歩を。

当第2四半期において、新エネルギー関連の分野では伸び悩んだコンデンサ・モジュール事業ですが、EV(電気自動車)向けのコンデンサは順調な推移を続けています。そんななか、大きな需要に応えるための生産力の確保と増強に向けて、いよいよ新工場の稼働をスタートさせることができました。第3工場が動き出したばかりの岡山指月では、若い社員たちを中心に、新しい設備にも柔軟に対応し、自動車用コンデンサの増産に向けた気運が高まっています。

私たちはこれから、組織として一つになって新たな成長局面を見据え、V字回復を目指していきます。株主の皆様には、これからも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





シツキから旅立ち、
社会を支える商品たち

vol.9

たくさんの人の安全と快適を乗せて。
乗り物といっしょに、走りつづけるコンデンサたち!

乗り物用コンデンサ

シツキのコンデンサが活躍している乗り物は、自動車や電車だけではなくありません。人がつかう乗り物の多くは電気が使われていて、電気があるところには、いつもコンデンサがあります。始動のときの点火やモータ駆動、快適さや安全性の向上など、いろんな乗り物で、いろんな役割を果たしています。

ゴルフ場カート

カートを動かす制御回路にコンデンサが使われています。回路に流れる電氣的なノイズを除去し、カートの誤動作を防止、安全走行のお役に立っています。



ノイズ対策用
コンデンサ

オートバイ

オートバイやモーターボートが始動する際の点火装置は、コンデンサから放出された高エネルギーによって点火し、駆動しています。



点火装置用コンデンサ

建設・農業機械

自動車だけでなく大型建設機械や農業機械のハイブリッド化が進んでいます。コンデンサは機械の旋回動作モータなどを制御するインバータに、平滑用として使われています。電気エネルギーの有効活用に、コンデンサは貢献しています。

インバータ平滑用
コンデンサ



探査船・観測船

探査船の推進装置は航行以外に、船体が風や潮流に流されないように高度なインバータ制御で船体位置を保持します。観測船は氷を割って前進するため、インバータ制御された電動機で加減速をして前進と後進を繰り返しながら進みます。これらのインバータ装置に平滑用としてコンデンサが搭載されています。



インバータ平滑用
コンデンサ

潜水調査船

深い海の中で地球の“謎”を調査する船にもコンデンサが搭載されています。



モータ駆動用コンデンサ

航空機

【快適空間の提供】

離陸前・着陸後の機内でも乗客が快適に過ごせるように、機内照明やエアコンなどを使用するための電力供給に役立っています。



駐機時電源用
コンデンサ

【落雷試験機】

航空機や自動車、さまざまな設備への落雷時の安全性を確認する試験に、衝撃電圧発生装置や充放電用のフィルムコンデンサが使われています。



衝撃電圧発生装置





情報機器システム事業の譲渡



シヅキは、今後の継続的な成長を目指し、中核を担うフィルムコンデンサ、電力機器システム事業への経営資源の集中を図るため、株式会社小田原機器へ情報機器システム事業を譲渡することといたしました。バス、鉄道などの情報機器システムの製造・販売において、シヅキが長年培ってきた技術とノウハウが、バス用ワンマン機器の総合メーカーおよびバス以外の交通系情報機器市場への進出を目指す小田原機器で新たな価値を生み出していくことを願います。これまで本事業を支えていただいた多くの皆様に、心より感謝を申し上げます。



兵庫県危険物安全協会 代表理事表彰を受賞



6月8日に開催された「兵庫県危険物安全・安心大会」において、シヅキが「兵庫県危険物安全協会代表理事表彰」を受賞しました。この大会は、燃料などの危険物を扱う事業所における“自主的な保安体制の確立”、そして、兵庫に住む皆さまの“安全意識の向上”を目指して、毎年開催されているものです。今年度、シヅキの危険物施設における安全管理、災害予防への活動が評価され、受賞に至ることとなりました。これからも、より高い防災意識を持ってものづくりに励み、シヅキに関わる皆様の安全と安心を守るよう努めてまいります。



自動車用コンデンサ

いくぞ。

これからも、走り続けていく。それが我々の誇り。

自動車の未来を支えて磨き上げ、仲間をふやし、

生まれている。日々自分を

車用の新しいコンデンサも

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動

車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も

「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車

はそれほど走っていない。経済の成長にあわ

せて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動

車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も

「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

鍛錬を怠らず進化を続けてきた。最近では、電気自動車も、どんどん自動車の普及が進むなか、我々も「自動車用コンデンサ」だ。当時、まだ日本には自動車はそれほど走っていない。経済の成長にあわせて、どんどん自動車の

岡山指月“第3工場”が完成

～生産能力6倍、さらなる高信頼・高品質のコンデンサを～

拡大する“EV需要”に応える新工場

岡山指月で建設を進めてきた“第3工場”が、2017年7月12日、ついに竣工を迎えました。新工場の誕生によって、岡山指月における生産能力は従来比で最大6倍になると見込まれています。環境対策を背景に世界各国で注目を集めるEV（電気自動車）、それに伴って年々高まりを見せる自動車用コンデンサへの需要に、万全の量産体制で応えていきます。

岡山指月は、自動車用コンデンサというシヅキにとっての主力商品を扱う製造拠点であるとともに、若い人材が多く活躍する風通しのいい組織です。工場では日々、一人ひとりが責任と誇りを持ち、いきいきとものづくりに取り組んでいます。さらなる高信頼・高品質、そして新しい価値の創造を目指す岡山から、シヅキの新たな一歩がはじまります。



世界各国で進むEVの普及を、高品質のコンデンサで支えていく

イギリス

2040年までにガソリン車・ディーゼル車の販売を禁止。

フランス

2040年までに温室効果ガスを排出する自動車の販売を禁止。

インド

2030年までにすべての販売車種をEV化する。

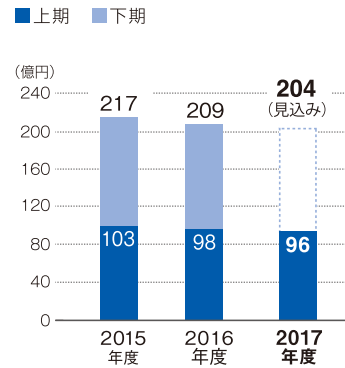
中国

2019年からNEV（新エネルギー車）規制を導入すると発表。自動車メーカーに一定比率のNEVの製造・販売を求める予定。

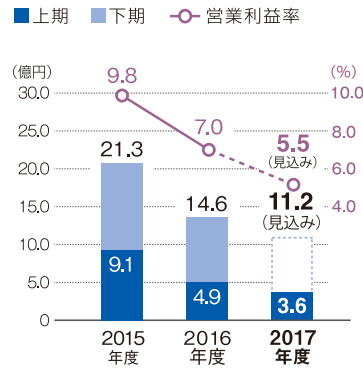
アメリカ

カリフォルニア州が施行しているZEV（排ガスを出さない車）規制において、2018年からHV（ハイブリッド車）を除外。

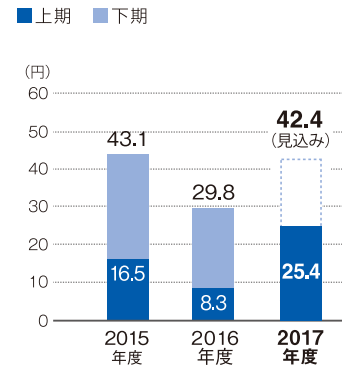
売上高



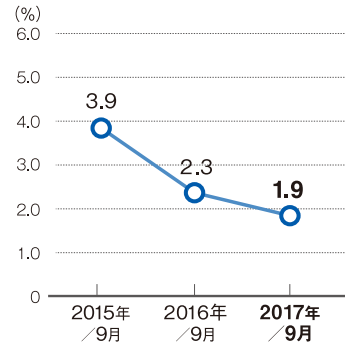
営業利益・営業利益率



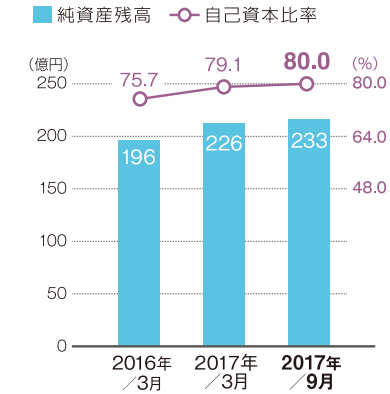
1株当たり利益(EPS)



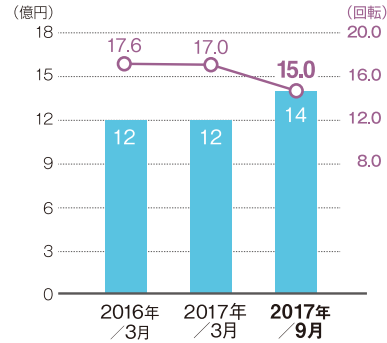
総資産経常利益率(ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



Point

業績面では売上減少の影響などにより、売上高、営業利益、経常利益は減収、減益になるも、情報機器システムの事業譲渡に伴う譲渡益や支店移転に伴う売却益の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。財務面では自己資本比率は80%とさらに安定感が増しました。

(注) 十万円の位を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第89期 第2四半期	第90期 第2四半期
	平成28年9月30日現在	平成29年9月30日現在
資産の部		
流動資産	13,100	15,437
現金及び預金	6,817	6,812
受取手形売掛金及び電子記録債権	4,691	6,761
棚卸資産	1,187	1,357
その他資産	403	506
有形固定資産	10,374	11,257
無形固定資産	36	89
投資その他の資産	1,617	2,110
資産合計	25,129	28,894
負債の部		
流動負債	3,475	3,545
固定負債	2,249	1,969
負債合計	5,724	5,515
純資産の部		
株主資本	18,287	20,804
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,308	4,276
利益剰余金	11,224	11,547
自己株式	△1,247	△20
その他の包括利益累計額	916	2,314
非支配株主持分	201	259
純資産合計	19,404	23,378
負債純資産合計	25,129	28,894

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

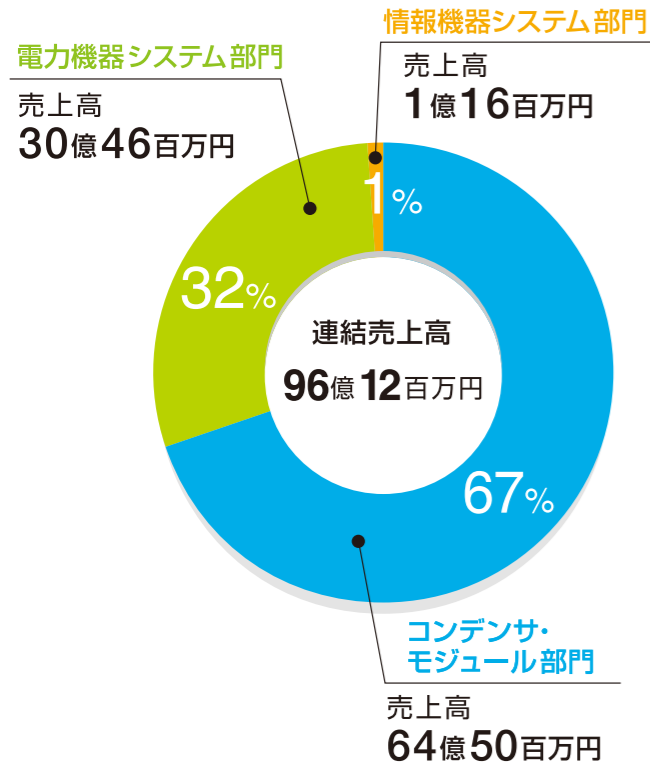
科目	第89期 第2四半期	第90期 第2四半期
	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで	平成29年4月1日から平成29年9月30日まで
売上高	9,761	9,612
売上原価	7,133	6,969
売上総利益	2,628	2,643
販売費及び一般管理費	2,138	2,278
営業利益	489	364
営業外収益	202	233
営業外費用	117	59
経常利益	574	539
特別利益	21	366
特別損失	265	—
税金等調整前四半期純利益	330	905
法人税、住民税及び事業税	126	26
法人税等調整額	△57	26
四半期純利益	261	853
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	240	838

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第89期 第2四半期	第90期 第2四半期
	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで	平成29年4月1日から平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,159	782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△465	△682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189	△212
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65	24
現金及び現金同等物の増減額	438	△88
現金及び現金同等物の期首残高	6,378	6,901
現金及び現金同等物の期末残高	6,817	6,812

■ 部門別売上高比率 (2017年9月)

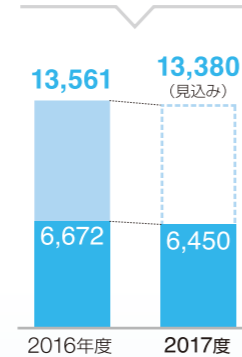


売上高構成比率 **67%** **コンデンサ・モジュール部門**

売上高

6,450百万円

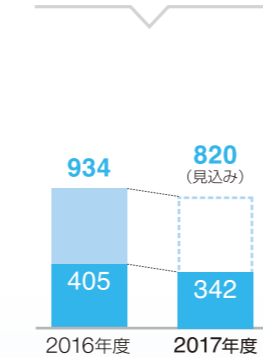
前年同期比 Δ **3.3%**



営業利益

342百万円

前年同期比 Δ **15.5%**



次世代エコカー用フィルムコンデンサは順調に推移し、売上が伸長しました。今後もこの状況は続く予測しております。また、家電機器用フィルムコンデンサについては、海外向けが天候不順によるエアコンの販売不振の影響を受け苦戦したものの、国内向けは計画通り推移しました。一方で、新エネルギー用フィルムコンデンサは減少しました。国内外から継続的な引き合いを頂いており、受注獲得に向け、営業活動を強化し取り組んでまいります。



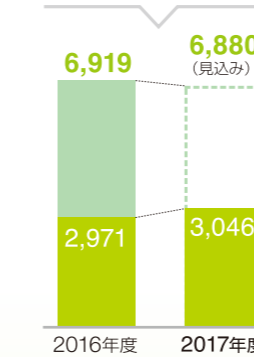
次世代エコカー用フィルムコンデンサ

売上高構成比率 **32%** **電力機器システム部門**

売上高

3,046百万円

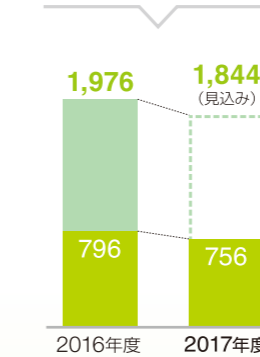
前年同期比 **+2.5%**



営業利益

756百万円

前年同期比 Δ **5.0%**



高圧進相コンデンサ LV-6

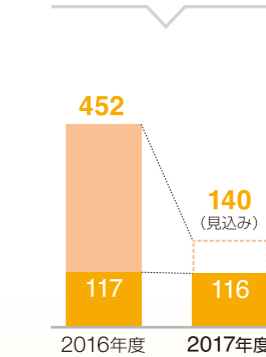
ビル、工場の新設に伴い設置される力率改善装置は、第2四半期の計画に対し13%の売上増加となりました。国内では新設店舗向けの受注・引き合いが続いており、今期後半も継続するとみております。電力品質改善装置と瞬時電圧低下補償装置は低調に推移しましたが、充実した商品ラインナップを強みに拡販活動を強化し、売上拡大とシェア拡大を目指してまいります。

売上高構成比率 **1%** **情報機器システム部門**

売上高

116百万円

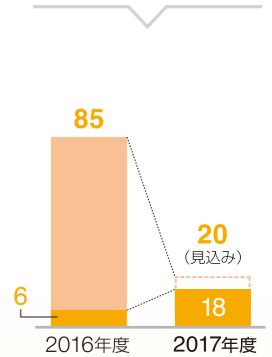
前年同期比 Δ **1.4%**



営業利益

18百万円

前年同期比 **+181.3%**



今期は、バス車載用運賃表示装置については減少しましたが、鉄道用表示装置が堅調に推移しました。なお、情報機器システム事業は2017年9月に株式会社小田原機器へ事業譲渡いたしました。



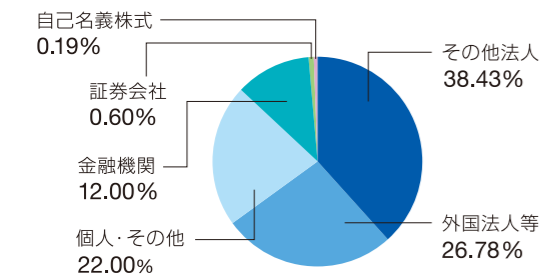
鉄道用表示装置

※セグメント別の営業利益については、調整額△752百万円があります。(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

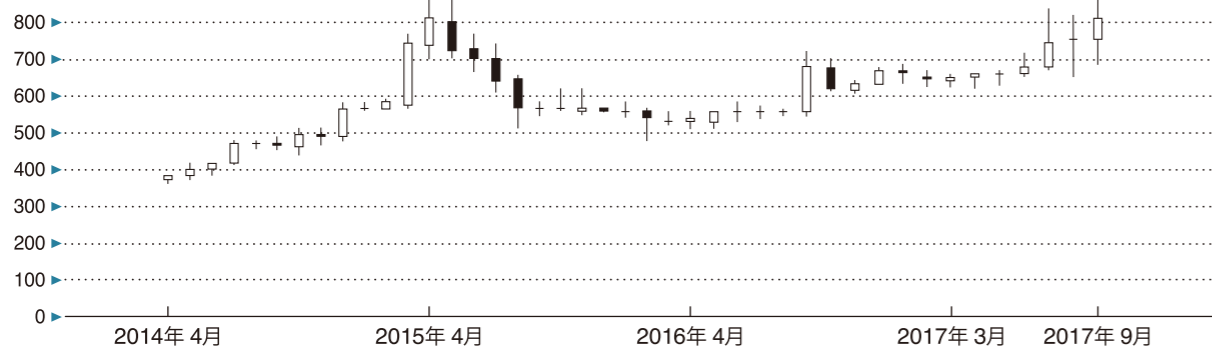
株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	3,407名

所有者別株式数分布状況



株価の推移(円)



中間配当金 1株当たり 5円

1. 中間配当金 1株当たり5円
2. 支払対象者 平成29年9月30日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成29年 11月27日

1株当たりの配当実績 (単位:円)



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.11
株式会社村田製作所	4,471	13.52
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	4,281	12.94
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	2,322	7.02
DEUTSCHE BANK AG LONDON GPF CLIENT OMNI-FULL TAX 613	1,564	4.73
株式会社りそな銀行	1,299	3.92
株式会社みなど銀行	925	2.79
指月協友持株会	843	2.55
指月電機製作所自社株投資会	490	1.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	434	1.31

会社概要

商号 株式会社指月電機製作所
 英文名称 SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
 本店所在地 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
 TEL:0798-74-5821
 ホームページ <http://www.shizuki.co.jp/>
 創業年月日 1939年 3月10日
 設立年月日 1947年 9月 1日
 資本金 5,001,745,595円
 グループ人員数 1,344名
 主要取扱業務

- コンデンサ及び関連機器・装置
 - 電力機器・装置
 - 情報機器・装置
- の製造販売

営業拠点

- 東京支社
- 東京支店／関西支店／中部支店
- 仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	300,000千円	100.0

関連会社

社名	資本金	出資比率(%)
株式会社 村田指月 FCソリューションズ	100,000千円	35.0

役員

取締役

取締役会会長	伊藤 薫*
取締役	友松 哲也*
取締役	山本 則彦
取締役	鳥川 光春*
取締役	森 公利*
取締役	谷 和義*

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	伊藤 薫
専務執行役	足達 信章
常務執行役	友松 哲也
執行役	小田 敦
執行役	藤原 健吾

生産・販売子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイバンコク)	33,000千バーツ	70.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0